

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

地域で活発な活動団体を紹介します！

	清流の国ぎふ 岐阜県環境生活部県民生活課 ぎふ地域の絆づくり支援センター 〒500-8570 岐阜市数田南2-1-1（県庁6階） 電話 058-272-8199
第20号 平成31年3月発行	

27 長平安全で安心な街づくり推進（各務原市）

会長：丹羽 政司 活動地域：各務原市稲羽東小学校区、長平自治会地域

地域の概要

長平地区は、各務原市南東部に位置し愛知県江南市との県境で、愛岐大橋が架かる昔からの地域であり、転入者は比較的少ない。268世帯 人口748人 稲羽東小学校区高齢化率33%（平成30年10月1日現在）

会の概要

当地域は、他所から盗みに入って逃げていくヒット&アウェイ（一撃離脱）型の犯罪が多いところである。そのため安全で安心なまちづくりを推進して地域貢献をしたいとの思いから、ソフトボール仲間を中心に犯罪の未然防止活動をしようと平成27年5月に立ち上げた。会では、犯罪を減らしたい信念で犯罪が起きにくい地域環境を目指して活動している。

会員数10名、年齢層は60代から80代。（平成30年12月末現在）

主な活動

○「ながら防犯」の推進

忍び込みなどの計画犯は、必ず下見を行うと言われていることから、年1回発行の「防犯だより」にて、散歩をしながら目配りをするなどの「ながら防犯」の必要性を啓発している。

知らない人を見かけたら積極的に「おはようございます」「こんにちは」など目を見ての一言運動を行うと、計画犯に「あっ！顔を見られた！」と思込ませる効果が生まれていくと考えている。

○「防犯啓発ポスター」の配布

防犯意識を高めるため、毎年、自治会員に防犯啓発ポスターを配布している。ほとんどの家庭では、計画犯の目に留まる道路側に1枚、玄関先や勝手口等に1枚と、多くの場所に掲示されている。

中には、自作の掲示板に貼ったポスターもあり目を引いている。



推進員宅のプレート



防犯啓発ポスター

○「防犯推進員」プレートの掲示

プレートを防犯推進員（10名）の玄関先等に掲示している。

これは、犯罪抑止力強化につながり、犯罪者が近寄れない環境を形成していく地域の防犯の目となっている。

○「のぼり旗」等の掲示

不審者や泥棒に警戒を呼びかけるのぼり旗40本を目立つ場所に掲示している。風雨に打たれると劣化が激しいため台風の接近時等には、自治会員が積極的に取り外しを行うなど連携を図っている。

のぼり旗は劣化が避けられないため、長期間設置できる看板を設置することとした。その看板は、費用がかかるため会員による手作り看板を作製し、経費削減を図った。会員が試行錯誤してベニヤ板に支柱や枠組みをつくり、掲示する標語は、自治会員から募集するなど地域の防犯意識の向上を図る機会となっている。



手作り看板



支柱や枠づくりの手作業の様子

「ちゃんと見てます！警戒中」などの言葉を入れた手作り看板は、犯罪者にとってはインパクトが強く、計画犯には「ここでは泥棒ができないぞ」と抑止力になっている。また、夜間でも看板がよく見えるよう太陽光ソーラー2灯をつけて防犯意識が高い地域であることをアピールしている。

新潟県で発生した女兒殺害事件報道後すぐに、未然防止策として、「知らない人には絶対ついていかない」という誘拐犯への注意を呼びかける看板を通学路に設置した。見守り隊の方からも「大変助かります。」と喜ばれている。